

# 「天職を探し立てる」

皆さん、こんにちは。

今日は、「天職を探し立てる」という題目で、説教を致します。

はじめにみ言を訓読します。

志を立てるということとは、自分が生きていく人生の意味を決めることです。農民になろうと思うなら、新しい農業を実験しながら良い品種をつくり、人類の飢餓問題を解決するという志を立てなければなりません。

サッカー選手になるとしても、自国の名を世界万邦に轟かせ、サッカーをやりたくてもできない子供たちのためにサッカー教室を開き、彼らの夢を育てたいという意味のある志を立てなければなりません。

（『平和を愛する世界人として』）

## 夢と志

中学生の時には高校受験、高校生の時には大学受験が控えていて、進路についてたくさん考え悩む時期だと思います。進路を明確にするには、夢を定めていくことが大切になります。進路とは、夢に向かっていく道のりのことですから、夢が見えれば、自ずと進路も明確になっていきます。

皆さんの夢は何ですか？夢と聞かれると、警察官、消防士、弁護士、公認会計士、パティシエ、看護師など、職業を答える人も多いと思います。中には、夢は YouTuber という人もいるかもしれませんね。

しかし、本当の夢とは、何の職業をしたいかではなく、その職業を通して何をなしたいか、ということです。先ほどのみ言のように、サッカー選手になるということ自体が夢なのではありません。サッカー選手を通して、子供達に希望と夢を育む人になりたい、というのが本当の夢になる訳です。それを志と言います。

成和学生の皆さんも、自分自身の志を立てることに挑戦してください。

## 天職とは何か

さて、志と職業が一致したものを「天職」と呼ぶのだと思います。志を立てて、そのための天職に将来就くことができれば素晴らしいですね。

今日は、天職とは何で、どのようにして天職を探し立てていくかを考えてみましょう。

まず天職を国語辞典で調べると、「天から与えられた職務、その人の性質・能力にふさわしい職業。」とあります。

世の中の人々も皆、自分の可能性が最大限に発揮されるような天職に就きたいと願っていると思います。自分に合う職業は何か、と。そのような時、天職は適職の意味と同じように言われることがあります。

まとめると、一般的に言う天職は、「自分のやりたいこと」、「自分の適性」、「社会のニーズ」の3つの要素が揃っている職業ということになると思います。

たとえば、自分のやりたいことであるし自分の適性に合っているけれども、社会のニーズとは違うというのは、趣味になると思います。また、自分の適性があるし社会のニーズに合っている職業だけでも自分のやりたくない職業であるとすれば、それは喜べない仕事になってしまうと思います。そして、自分のやりたいことで社会のニーズに合っているのに、自分の適性とは合っていない職業だとしたら、そこで活躍するのは難しく、続けていくのが困難になるかもしれません。

「自分のやりたいこと」、「自分の適性」、「社会のニーズ」、この3つの要素を備えた職業を探していけると良いですね。

## 神様を中心として天職を探す

しかし、ここで大切なことは、自分の視点だけで「やりたいこと」、「適性」、「社会のニーズ」を見続けても、私達が目指す天職を探し立てることはできません。そこに大切なことは、神様の視点で見るということです。

神様の視点で見ると、この3つの要素は、「神様が私にしてほしいことは何か」、「神様が私に与えた才能は何か」、「神様が願っておられるのはどのような社会か」となります。そのように捉えて、一つ一つを求めていくことが大切になります。

聖書には、「神様は私達の髪の毛の数をもご存知である」という聖句があります。皆さんは自分の髪の毛の数を知っていますか？数えたことがありますか？無理だと思います。

つまり、神様は私達のどんなこともご存知であり、私達が進んでいったら良い天職も、私達が求めれば導いてくださるということです。

## 天職の探し方

それでは、神様を中心とする天職の探し方について考えてみましょう。真のお父様のみ言から学びたいと思います。

**24 歳までの間に、完全に自分の全人生を懸ける目標を定めなければなりません。それは、皆さんが修養し、精誠をつくせば分かるようになっているのです。**

自分で自分の分野が分からないという事実は、深刻なものです。深刻にとらえて、重要な一生の問題を、天とともに協議しなければなりません。そして、自分自らが環境的与件に適応しなければなりません。

皆さんの一生の問題において、専門分野を策定するには、天と談判して、深い自分の本心に問いながら行うことです。自分の素性は自分で分かるのです。自分にどんな素質があるのかが、よく分かるということです。

（『真なる子女の道』 p.45～47）

真のお父様は、修養し、精誠を尽くせば、自分で分かるようになっていると教えてくださっています。そしてそれを、24 歳までには定めなければならないと仰っています。

そのための方法が 2 つだということが分かります。

## 天に談判し、社会を知る

第一に、「天とともに協議する」ことであり、「天と談判する」ことであるということです。それが、先ほど伝えた、「神様が私にしてほしいことは何か」、「神様が私に与えた才能は何か」、「神様が願っておられるのはどのような社会か」を祈禱し尋ねていくということになります。

しかもただ尋ねるのではありません。天と協議し談判するんですから、普通の祈禱ではいけません。「ここで教えてくださらなければ、自分の人生を決めることができません！何としても私に人生の目標を教えてください！」と生命力を込めて祈禱し精誠を込めていきましょう。少しそのようにするだけでも足りません。お父様もイエス様が霊的に現れてメシヤとしての使命を与えられるまで、いつそれが与えられるかも分からない中で、祈禱の精誠を積んでいかれたのです。

そして第二に、「環境的与件に適応する」ということです。神様に尋ね求めていくと同時に、社会のことをよく知らなければなりません。今世界がどのように動いているのか、社会がどんな仕組みになっているのか、社会にはどんな職業があるのか、また、どんな大学があるのか、どんな学部学科があってそれらは実際どんな勉強ができるのか、など、自分の進路選択に必要な材料をたくさん集めることです。

本やネット、そして色々な人と接して、情報を集めていきましょう。二世圏にはすでに社

会で頑張っている先輩達もたくさんいます。そういう先輩達が後輩達のためにみ旨と進路について考えることができるイベントを企画してくれたりもしています。教会の中でも、大学生や社会人の先輩、そしてお父さんお母さん方がいると思います。ぜひ色々な人から情報やアドバイスを聞いてください。

## **諦めずに志を探し立てよう**

天職や進路はすぐに分かるものではないかもしれませんが、ですが、諦めずに天と談判し、社会を知っていけば、必ず自分の志を立てる道が見えてくるようになります。

最後に、真のお母様が私達に強い愛と期待をかけてくださっていることを感じるみ言を訓読して、説教を終わります。

**若き勇士たちよ、あなたたちが実質的な未来の主人になる人たちですね？ピュアウォーターになりなさい。そして、清き水が多くを生命を育むように、あなたたちも多くを生命を生かしなさい。**

**自らの夢をもち、専門分野を開発しながら、真の父母を実現しなさい。**

**(2015年8月29日青年学生世界総会における真のお母様のみ言)**

今日は、「天職を探し立てる」という題目で説教を致しました。

以上で説教を終わります。ありがとうございました。